Konica

FILM SCANNER
RX-3

ご使用手順マニュアル

Windows 版： RX-3　Version 1.00
第 1 版

目　次

はじめに 5

動作環境 6

ソフトウェアの起動方法 7

スキャン作業の流れ 8

フィルムのセット方法 10
●スリーブフィルムのセット 10
●スライドフィルムのセット 10
● APS フィルムカートリッジのセット 11

設定タブの説明 12
① フィルムタイプ 13
② トリミング 13
③ 色濃度 13
④ フォーカスモード 14
⑤ 解像度 15
⑥ キャリアタイプ 15
⑦ オートロードフィルム 16
⑧ プリスキャンボタン 16
⑨ キャンセルボタン 16
⑩ ダイレクト転送 16
⑪ シャープネス 17
⑫ フレームエッジの検出 17
⑬ グローバルカラー 17
⑭ ヘルプボタン 17
⑮ フィルムの取り出しボタン 17
⑯ 閉じるボタン 18
⑰ ステータスバー 18

回転/反転タブの説明.....19
① 画像の選択.....20
② 回転ボタン.....20
③ すべてを回転ボタン.....20
④ 反転ボタン.....20
⑤ すべてを反転ボタン.....20
⑥ カラーリフレッシュボタン.....21
⑦ X, Y オフセット、スクロールバー.....21
⑧ フレーム数.....21
⑨ オフセット表示部.....21
⑩ グローバルカラー.....22
⑪ コマスクロールバー.....22
⑫ ヘルプボタン.....22
⑬ フィルム名表示.....22
⑭ フィルムの取り出しボタン.....23
⑮ 閉じるボタン.....23
⑯ ステータスバー.....23

エンハンスタブの説明.....24
① 色の調整ボタン.....25
② 選択画像をリセットボタン.....27
③ 全画像をリセットボタン.....27
④ フレーム数.....27
⑤ グローバルカラー.....28
⑥ ヘルプボタン.....28
⑦ フィルム名表示.....28
⑧ フィルムの取り出しボタン.....28
⑨ 閉じるボタン.....28
⑩ ステータスバー.....28

スキャンタブの説明.....30
① スキャンチェックボックス.....31
② 転送ボタン.....31
③ すべてを選択ボタン.....31
④ すべての選択を解除ボタン.....31
⑤ フレーム数.....31
⑥ グローバルカラー.....32
⑦ ヘルプボタン.....32
⑧ フィルム名表示.....32
⑨ フィルムの取り出しボタン.....33
⑩ 閉じるボタン.....33
⑪ ステータスバー.....33

オプションタブの説明.....34
① バージョン表示.....35
② ログファイル.....35
③ LUT ダウンロード.....35
④ グローバルカラー設定.....36
⑤ ヘルプボタン.....37
⑥ フィルム名表示.....37
⑦ フィルムの取り出しボタン.....37
⑧ 閉じるボタン.....37
⑨ ステータスバー.....37

エラー・メッセージ一覧.....38

はじめに

本マニュアルをお読みになる上で、ポイントとなる内容を以下の絵表示で説明しています。

この絵表示は、使用上　注意！　を必要とする箇所に付けられています。

この絵表示は、使用上　ヒント！　となる箇所に付けられています。

1. 本書の内容の一部または全部を無断で転載することは禁止されています。

2. 本書の内容に関しては、将来予告無く変更することがあります。

3. 本書の内容につきましては万全を期して作成しておりますが、万一ご不明な点、誤り、記載もれなどお気づきの点がございましたらご連絡ください。

Copyright © 2002 Konica Corporation

商標について

・ Windows、WindowsNT および Microsoft は、米国 Microsoft Corporation の米国およびその他の国における登録商標または商標です。

最新のソフトウェアの情報は、コニカホームページをご覧ください。
http://www.konica.co.jp/

動作環境

【OS 環境など】

・Windows™95（OSR2.0 以上）/98/NT4.0（SP3 以上）/2000/XP
ただし、ADAPTEC™ 社 2930 シリーズ ASPI マネージャー（Wnaspi32.dll）がインストールされていること。
*ASPI マネージャーについては、アダプテック社にお問い合わせください。

【ハードウェア環境】

・CPU ： Pentium166MHz 以上
・メモリ： 128MB 以上
・画面表示： 800x600 ピクセル以上　フルカラー表示できること。
（画面表示 800x600 を使用する場合“小さいフォント”を指定してください。）
・SCSI インターフェース：必須、SCSI ボードは ADAPTEC 社 2930 シリーズの SCSI ボードのみ動作確認済。
・ハードディスクにスキャンした画像が保存できる十分な空き容量が確保されていること。

注意！

- アプリケーションとしてすべての機能を使用するためには、Photoshop5.0 以上のご使用を推奨します。
- このソフトウェアには、イメージングソフトは同梱されていません。
- 本ソフトウェアの動作は将来の OS バージョンアップ、ハードウェアの機能アップに対して保証するものではありません。

ソフトウェアの起動方法

このソフトウェアは Windows 95/98/NT4.0/2000/XP をサポートする TWAIN ドライバーに対応したソフトウェアです。
（NT 4.0, 2000, XP は Wnaspi32.dll が必要です。）

Adobe Photoshop や PhotoDeluxe のような TWAIN をサポートするアプリケーションの場合、下記のようにソースデータを選択する。

【例】

“ファイル”
⬇
“読み込み”
⬇
“TWAIN_32対応機器の選択”から“Konica RX3 Scanner”を選択し、【選択】ボタンをクリックする。

その後、

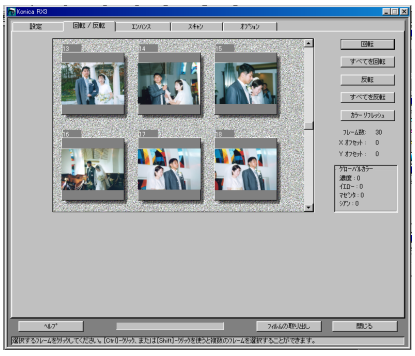
“ファイル”
⬇
“読み込み”
⬇
“TWAIN_32対応機器からの入力”をクリックする。

- 上記の方法でプログラムを起動すると、1 ～ 2 分イニシャライズ処理が行われた後、【設定タブ】画面が表示されます。

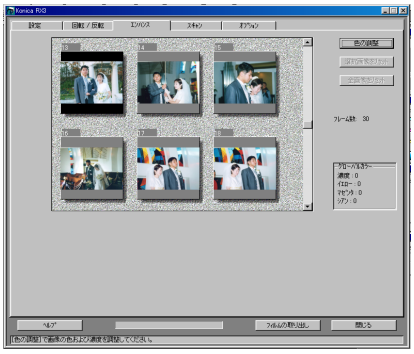
スキャン作業の流れ

このプログラムを使用してフイルムをプリスキャン・画像調整・本スキャン・画像データを転送するまでの作業の流れを以下に示します。

【設定タブ】
スキャンする際の条件をここで設定します。
（詳細は P.12 を参照してください。）

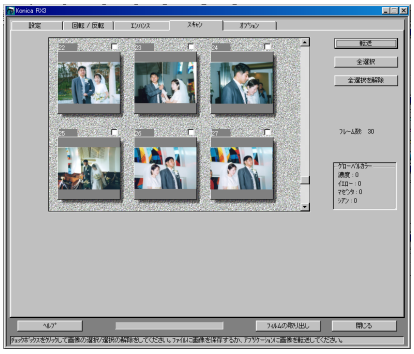


【回転/反転タブ】
プリスキャンされた画像を回転・鏡像反転することができます。
（詳細は P.19 を参照してください。）

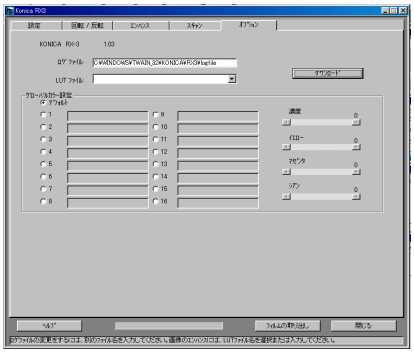


【エンハンスタブ】
プリスキャンされた画像の色合いを補正します。
（詳細は P.24 を参照してください。）

次頁へ続く



【スキャンタブ】
スキャンするコマを選択し、Photoshop など TWAIN をサポートするアプリケーションに選択した画像を転送します。
（詳細は P.30 を参照してください。）



【オプションタブ】
（詳細は P.34 を参照してください。）

注　意

注意！
【オプションタブ】は特殊なカラーセッティングをするためのタブで通常は使用しません。

注　意

注意！
使用中にエラーメッセージが表示された場合は、P.38～39 を参照してエラーを解除してください。

注　意

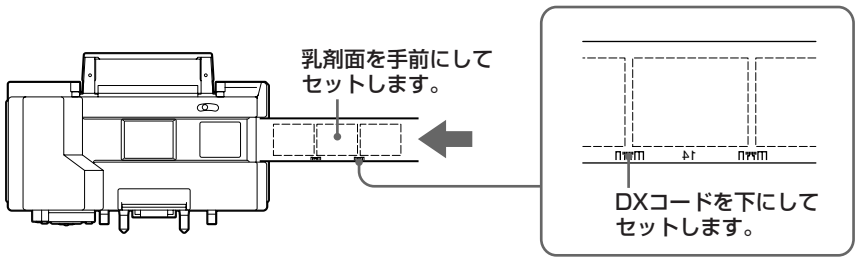
注意！
作業の開始時、終了時にキャリア内部の清掃などのお手入れをしてください。（詳細はハードウェアマニュアルを参照）
また、キャリア内にフィルムを入れたまま長時間放置しないでください。フィルムを傷つける恐れがあります。

フィルムセットの方法

各フィルムのタイプ別に、キャリアへのセット方法を以下に示します。

● スリーブフィルムのセット

下図のようにスリーブフィルムの乳剤面を手前側に、DX コードを下側にしてキャリアにセットします。3 ～ 36 枚までのフィルムを一度に取り込むことができます。

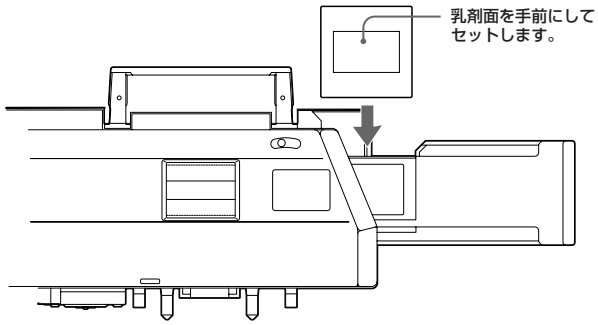


注　意

注意！
フィルムが極端にカールしていたり、先端部や後端部に不具合があると、正しくロードされない場合があります。

● スライドフィルムのセット

下図のようにスライドフィルムの乳剤面を手前側にしてキャリアにセットします。その後、キャリアのホルダーを押し込んでください。

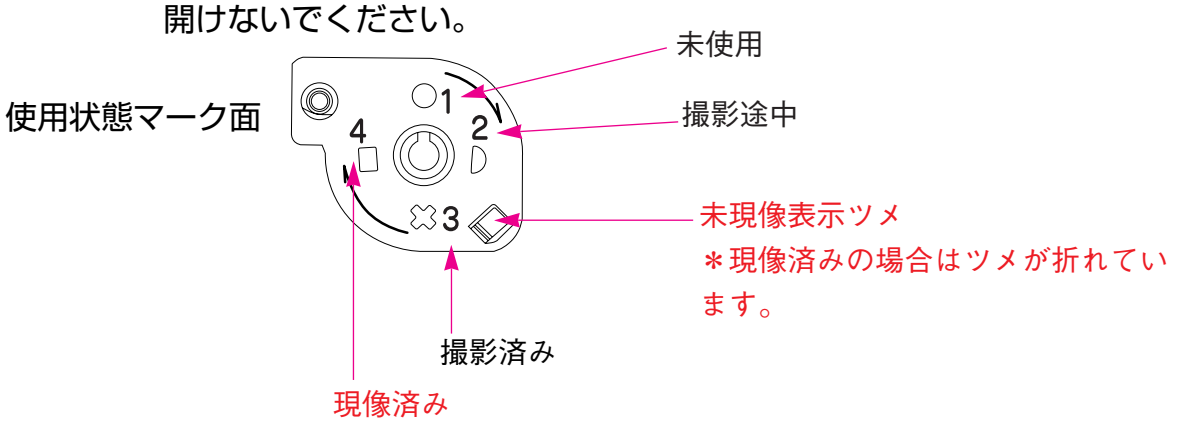


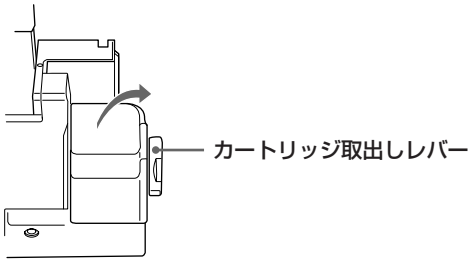
● APS フィルムカートリッジのセット

注　意

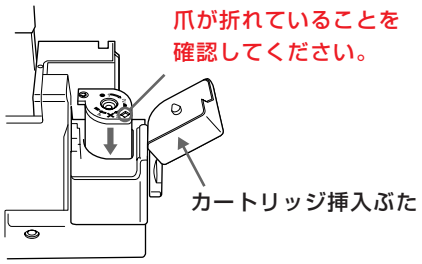
注意！　APS フィルムカートリッジの取扱いについて

- カートリッジの露光ぶたが閉まっていることを確認してください。
- 下記使用状態マークをチェックし、現像済みフィルムであることを確認してください。
- プリスキャンまたはスキャン中は、キャリアやカートリッジ挿入ぶたを開けないでください。





カートリッジ取り出し用レバーを押し、ふたを開けます。

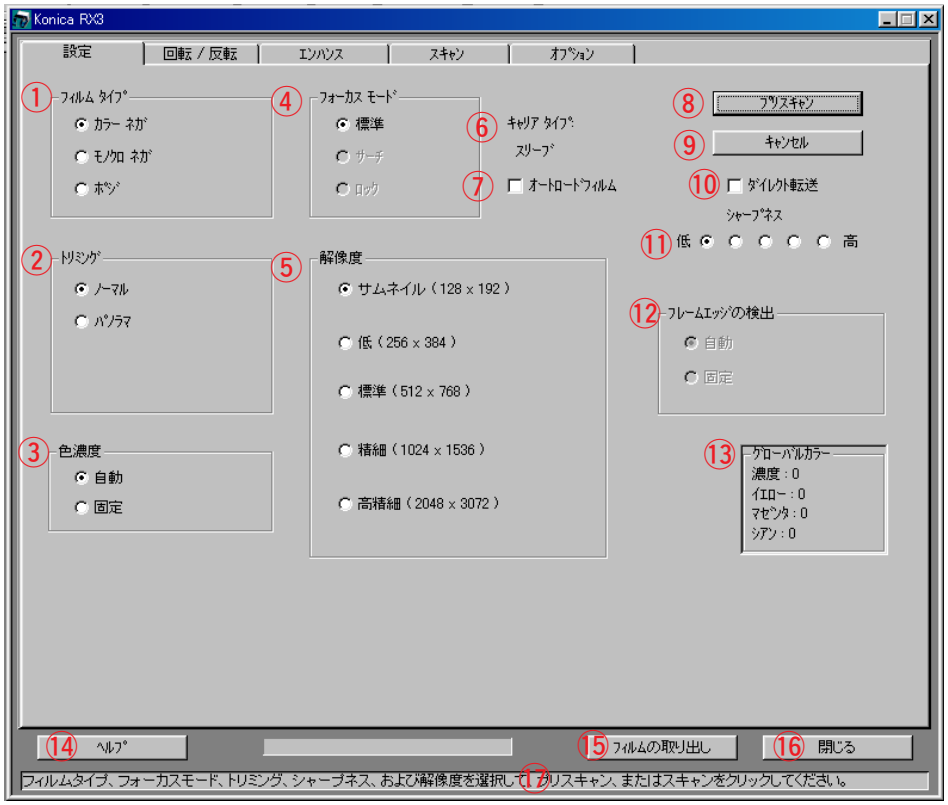


使用状態マーク面を上にして、APS カートリッジフィルムをセットします。
（現像済であることを確認してください。）

カートリッジ挿入ぶたを閉めます。

【設定タブ】の説明

このタブは、プログラムが起動した直後に表示されます。
このタブには、フィルムをスキャンしたときに適用される条件が表示されています。
（セットしたキャリアタイプにより、自動的に項目が切り替わります。）



以下の設定が可能です。
（詳細は P.13～18 を参照してください）

① フィルムタイプ
② トリミング
③ 色濃度
④ フォーカスモード
⑤ 解像度
⑥ キャリアタイプ
⑦ オートロードフィルム
⑧ プリスキャンボタン
⑨ キャンセルボタン
⑩ ダイレクト転送
⑪ シャープネス
⑫ フレームエッジの検出
⑬ グローバルカラー
⑭ ヘルプボタン
⑮ フィルムの取り出しボタン
⑯ 閉じるボタン
⑰ ステータスバー

① フィルムタイプ

スキャナーで読みこむフィルムのタイプを選択します。
・カラーネガフィルム
・モノクロネガフィルム
・ポジフィルム
の 3 種類に対応しています。

② トリミング

マウントしたポジフィルムの黒い縁の部分や、パノラマサイズの周りの不要部分をスキャン領域から除外します。フィルムキャリアにより選択肢が変わります。
その結果スキャンされた画像のピクセル数は下記表のように変わります。
（フィルムの種類により設定可能なトリミングは決定します。）

フィルムの種類	トリミング	サムネイル	低	標　準	精　細	高精細
135	ノーマル	128 × 192	256 × 384	512 × 768	1024 × 1536	2048 × 3072
	パノラマ	68 × 192	136 × 384	272 × 768	544 × 1536	1088 × 3072
135 スライド	ノーマル	128 × 192	256 × 384	512 × 768	1024 × 1536	2048 × 3072
	パノラマ	68 × 176	136 × 352	272 × 704	544 × 1408	1088 × 2816
	APS スライド	80 × 144	160 × 288	320 × 576	640 × 1152	1280 × 2304
	スライド	116 × 176	232 × 352	464 × 704	928 × 1408	1856 × 2816
APS	ノーマル	108 × 192	256 × 456	512 × 912	1024 × 1824	2048 × 3648
	パノラマ	68 × 192	160 × 456	320 × 912	640 × 1824	1280 × 3648
	C サイズ	108 × 144	256 × 384	512 × 768	1024 × 1536	2048 × 3072

③ 色濃度

下記の 2 種類のモードがあります。

・**自動モード：**　自動的に色濃度を補正します。
・**固定モード：**　色濃度の補正を行いません。

ヒント！
固定モードの使用例としては、撮影時に意図的に撮影条件を変えたり、学校の卒業写真のように連続的に撮影した場合の背景色を変えたくないときなどに使用します。

④ フォーカスモード

プレビューやスキャンのときのフォーカスを選択します。

・ノーマル：通常はこの位置に設定してください。

・サーチ：（ポジのみに有効）コマ全体の中からフォーカスが正しく合う部位を探します。画像が暗かったり、コントラストの差があまりはっきりしない場合はこの位置にしてください。
ノーマルを選択した場合よりスキャンに時間がかかります。

・ロック：フォーカスが、前回のプレビュー時の状態でロックされます。
前回とフィルムの種類が同じ場合や、同じタイプのスライドマウントに入れたコマをプレビューして、フォーカスが合っているときはこの位置に設定してください。

キャリアタイプによって、選択できるフィルムタイプとフォーカスモードは決定します。（組み合わせは、下記表を参照してください。）

キャリアタイプ	フィルムタイプ	フォーカスモード
スリーブ	カラーネガ	ノーマル
	モノクロネガ	ノーマル
	ポジ	ノーマル
		ロック
スライド	モノクロネガ	ノーマル
	ポジ	ノーマル
		サーチ
		ロック
APS	カラーネガ	ノーマル
	モノクロネガ	ノーマル
	ポジ	ノーマル
		ロック

⑤ 解像度

スキャンする際の、解像度の選択が出来ます。
ただし、フィルムの種類によって選択できる解像度は下記表のようになります。

APS 以外のフィルム	APS フィルム
128 × 192 ピクセル	108 × 192 ピクセル
256 × 384 ピクセル	256 × 456 ピクセル
512 × 768 ピクセル	512 × 912 ピクセル
1024 × 1536 ピクセル	1024 × 1824 ピクセル
2048 × 3072 ピクセル	2048 × 3648 ピクセル

⑥ キャリアタイプ

3 種類のフィルムキャリアが使用できます。
・スリーブ
・APS キャリア
・スライドキャリア

※ここでは使用中のキャリアが表示されます。

注意！
キャリアの交換は、ソフトウェアを終了してから行ってください。
その後、ソフトウェアを再起動してください。
ソフトウェア起動時に、キャリアのイニシャライズが動きます。

⑦ オートロードフィルム

ここのチェックボックスにチェックを入れておきますと、プリスキャンボタンを押さなくても、フィルムの先端部をキャリアにセットするだけで、自動的にフィルムロード → プリスキャンを開始します。

ヒント！
読み込ませたいフィルムが大量にある場合は、プリスキャンボタンを押す必要がないので、効率よく作業が進められます。

注意！
一度プリスキャンし終えたフィルムを、そのまま放置しておくとセンサーが働き、再度プリスキャンを始めてしまいますので、必ずフィルムを取り除くか、次のフィルムをセットしてください。

⑧ プリスキャンボタン

このボタンをクリックすることによりプリスキャンが始まります。
（【設定タブ】画面が表示されるとカーソルの位置はこのボタン上にありますので、キーボード上の“Enter”キーを押すことによってもプリスキャンが始まります。）
⑩ の“ダイレクト転送”を指定すると“スキャン”ボタンに表示が変わります。

⑨ キャンセルボタン

このボタンをクリックすることによりプリスキャンが中止されます。

⑩ ダイレクト転送

（ご使用のシステム環境、アプリケーションにより枚数が制限される場合があります。）

【設定タブ】で指定した条件でプリスキャン・本スキャン・アプリケーションへの転送までを自動処理するモードです。
このチェックボックスにチェックをすると、“プリスキャン”ボタンが“スキャン”ボタンに変わります。（スキャン動作中に【設定タブ】の条件を変えても有効にはなりません。）

⑪ シャープネス

5 段階の切り替えが可能です。

注意！
シャープネスの値を変更しても、プリスキャンで表示される画面には反映しません。本スキャン時に選択したシャープネスの値でスキャンされます。また、シャープネスはサムネイル画像には反映しません。再度ドライバーソフトを起動した場合は、デフォルト値に戻ります。

⑫ フレームエッジの検出

スリーブフィルムのコマ位置の判別をします。
下記の 2 種類のモードがあります。
・**自動モード：** コマ認識を自動的に行います。

注意！
濃度の高いポジフィルムをプリスキャンした場合、コマ位置がずれたり、コマ認識がされずコマ数が少なく表示される場合がありますので、ご注意ください。

・**固定モード：** コマ位置の切り出しをパーフォレーションの幅を手がかりにして固定値で切り出します。

⑬ グローバルカラー

コマすべてに適用される各色と濃度の調整値です。
【オプションタブ】で設定します。

⑭ ヘルプボタン

【設定タブ】画面のボタンの操作についての、ヘルプファイルを開くことができます。
ヘルプファイルにはこの説明書と同じ内容が説明されています。

⑮ フィルムの取り出しボタン

このボタンをクリックするとキャリアよりフィルムが排出されます。

⑯ 閉じるボタン

このボタンをクリックするとプログラムが終了します。RX-3 の状態を確認するため終了に少し時間がかかります。

⑰ ステータスバー

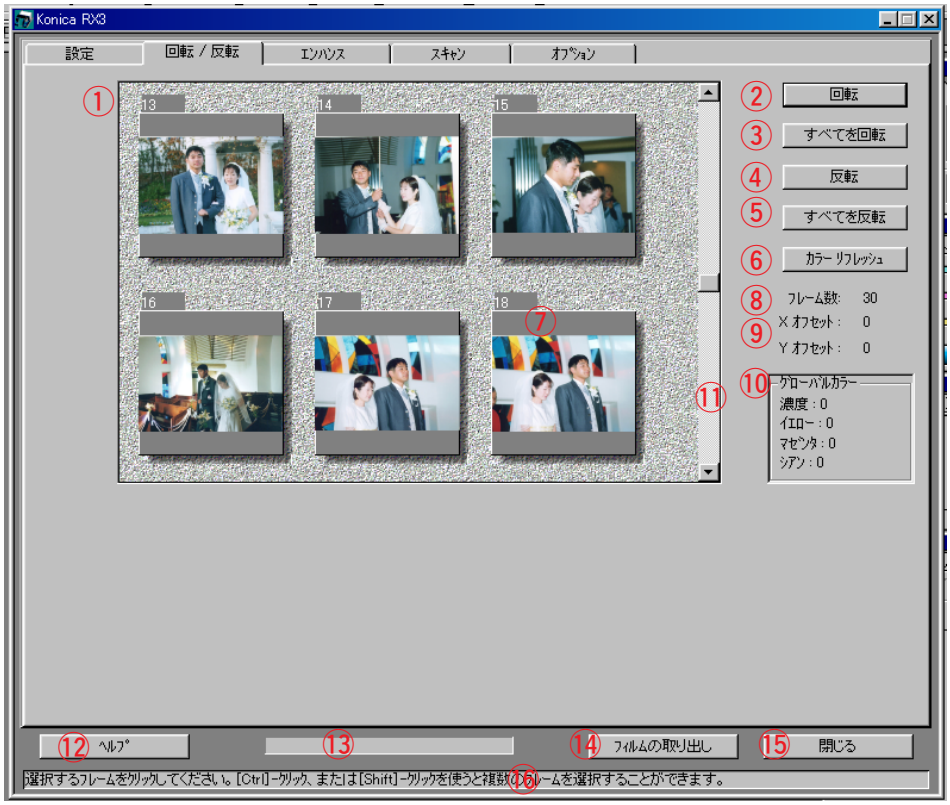
次に必要な操作についての説明が表示されます。
プリスキャン中は、プログレスバーが表示され進行の度合いが分かります。

注意！
プリスキャン後に【設定タブ】に戻って設定値を変更した場合は、必ずプリスキャンをやり直してください。

【回転/反転タブ】の説明

プリスキャンが終了するとこの画面に移ります。
プリスキャンされた画像が表示されます。

・スリーブキャリア、APS キャリアの場合は 3 コマ× 2 列の最大 6 コマの画像が 1 画面に表示されます。
6 コマ以降の画像の表示は、スクロールバーを操作することにより画像がスクロールします。
・スライドキャリアの場合は 1 コマの表示がされます。



以下の機能の使用が可能です。
(詳細は P.20～23 を参照してください)

① 画像の選択
② 回転ボタン
③ すべてを回転ボタン
④ 反転ボタン
⑤ すべてを反転ボタン
⑥ カラーリフレッシュボタン
⑦ X, Y オフセット、スクロールバー
⑧ フレーム数
⑨ オフセット表示部
⑩ グローバルカラー
⑪ コマスクロールバー
⑫ ヘルプボタン
⑬ メーカー名、またはフィルム名表示
⑭ フィルムの取り出しボタン
⑮ 閉じるボタン
⑯ ステータスバー

① 画像の選択

回転・鏡像反転をかける画像を選択します。
選択方法は、サムネイル画像をクリックします。

ヒント！
複数コマ選択時に“Shift”キーを押しながら画像をクリックしますとその間にあるコマもすべて選択されます。
複数コマを同時に選択するには、“Shift”キーを押しながら画像をクリックします。
“Ctrl”キーを押しながら画像をクリックしますと指定したコマのみ複数選択できます。

② 回転ボタン

“回転”ボタンをクリックすると、選択されている画像が、クリックする毎に時計回りに 90 度づつ回転します。

③ すべてを回転ボタン

“すべてを回転”ボタンをクリックすると、選択や回転の指示にかかわらず全ての画像が、クリックする毎に時計回りに 90度づつ回転します。

④ 反転ボタン

“反転”ボタンをクリックすると、選択されている画像が左右に鏡像反転します。

⑤ すべてを反転ボタン

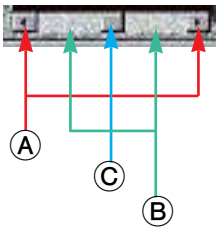
“すべてを反転”ボタンをクリックすると、選択や回転の指示にかかわらず全ての画像が左右に鏡像反転します。
ただし、現在の画像からの反転となるため、あるコマが一度反転されている場合そのコマは反転しません。

⑥ カラーリフレッシュボタン

プリスキャン時に切り出し位置がずれていると、正常な色合いで取り込めないことがあります。⑦ の“X, Y オフセット”機能を使用して位置調整した後は必ず“カラーリフレッシュ”ボタンをクリックしてください。色合いを再計算します。

⑦ X, Y オフセット、スクロールバー

コマ切り出し位置がずれていたとき、1 コマづつマニュアルで位置調整できます。
選択されたコマの下に、X オフセットのスライドバーが表示されます。
以下の方法によって水平方向にコマをシフトすることができます。



Ⓐ 矢印をクリックする。
Ⓑ 矢印とスライダーの間をクリックする。
Ⓒ スライダーをドラッグする。

尚、画像が縦位置に回転されたときは X オフセット・スライドバーはコマの右側に縦長に表示されます。

Y オフセット・スライドバーはスクロールバーの左側に表示されます。
Y オフセット・スライドバーを操作することにより、全部のコマ位置が同時にシフトします。

⑧ フレーム数

プリスキャンされたコマの総数を表示します。

⑨ オフセット表示部

動かしたオフセット量が画面右端に表示されます。

⑩ グローバルカラー

コマすべてに適用される各色と濃度の調整値です。
【オプションタブ】で設定します。

⑪ コマスクロールバー

同時に最大 6 コマの表示がされますのでコマ数が 7 以上の場合は、残りのコマをスクロールバーを使用して表示させます。

⑫ ヘルプボタン

【回転/反転タブ】画面のボタンの操作についての、ヘルプファイルを開くことができます。
ヘルプファイルにはこの説明書と同じ内容が説明されています。

⑬ フィルム名表示

フィルムにバーコードとして記録されたメーカー名とフィルムタイプ名を表示します。
フィルムによってはメーカー名のみを表示する場合があります。

注意！
フィルム名表示機能は、ネガフィルムにのみ有効です。
それ以外のフィルムでは表示されません。

注意！
DX-コードが認識できない場合：
フィルムを装着する向きが間違っている場合が考えられます。

⑭ フィルムの取り出しボタン

このボタンをクリックするとキャリアよりフィルムが排出されます。

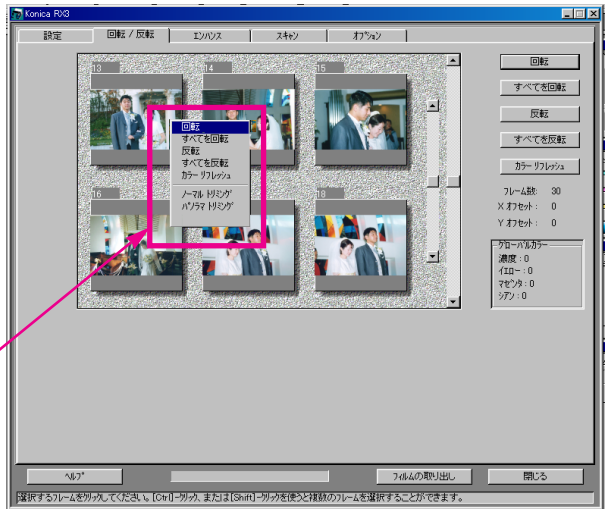
⑮ 閉じるボタン

このボタンをクリックするとプログラムが終了します。

⑯ ステータスバー

次に必要な操作についての説明が表示されます。

ヒント！
マウスの右ボタンクリック：



コマを選択してマウスの右ボタンをクリックすると、ドロップダウンメニューが表示されます。
以下の機能を直接操作することができます。

- 回転
- すべてを回転
- 反転
- すべてを反転
- カラーリフレッシュ

- ノーマルトリミング
- パノラマトリミング

【エンハンスタブ】の説明

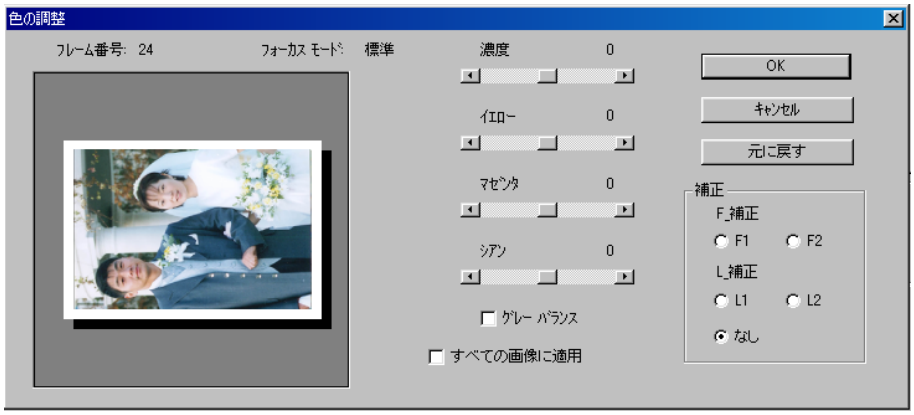
このタブではスキャンする画像の色合いを調整します。

以下の機能の使用が可能です。
(詳細は P.25～29 を参照してください)

① 色の調整ボタン
② 選択画像をリセットボタン
③ 全画像をリセットボタン
④ フレーム数
⑤ グローバルカラー
⑥ ヘルプボタン
⑦ メーカー名、またはフィルム名表示
⑧ フィルムの取り出しボタン
⑨ 閉じるボタン
⑩ ステータスバー

① 色の調整ボタン

クリックすると色の調整ダイアログが表示されます。
選択されているコマ数が 1 コマの場合は、ダイアログの中で画像が拡大表示されます。



複数のコマが選択されている場合は、下図のように表示されます。

色調整用スライダーやボタンを使用して、色の調整を行います。

■ 濃度調整

濃度スライダーを移動することにより濃度調整ができます。
初期値でスライダーは中央（0）にあります。0 を中心に+/− 50 の範囲で移動できます。
スライダーの現在値はバーの右上に表示されます。
矢印をクリックする毎に 1 づつ増減します。スライダーと矢印の間をクリックすると 10 づつ増減します。
スライダーをドラッグすると任意の位置にスライドを移動することができます。

ヒント！
●キーボードの矢印キーでも値を変更できます。
● Tab キーで、変更する項目を変更できます。
● Shift ＋ Tab キーで変更する項目を逆順に変更できます。

■ 色の調整

イエロー、マゼンタ、シアンの 3 種類のスライドバーがあります。
操作方法は濃度調整と同じです。（モノクロフィルムへの色調整はできません。）

■ グレイバランス

チェックボックスにチェック・マークを入れた後、カーソルを選択された画像の上に移動します。画像上グレイにしたい所でクリックすると、そのポイントが無彩色グレイになり、それに連れて画像全体が調整されます。
チェック・マークを外すと画像は元に戻ります。

■ すべての画像に適用

1 コマで調整した調整値を、プリスキャンしているすべてのコマに適用します。
同じように、変色しているネガなどの調整をすばやく行えます。

注意！
グレイバランスの値は、グレイバランスを指定した位置情報がすべてのコマに適用されます。

■ 補　正
光源の違いや撮影場所による画像を自動的に補正します。
・F_ 補正
露光オーバーやアンダーネガ、タングステン光や蛍光灯など、人工光源下での撮影シーンのような、ネガ画像全体の色調が偏っているものに対して自動補正します。（ラジオボタン“F1”、“F2”の順で補正量が強くなります。）
・L_ 補正
色が偏っているネガに対して適用します。（ラジオボタン“L1”、“L2”の順で補正量が強くなります。“なし”を選択すると全ての補正は無効になります。）

注意！
F_ 補正、L_ 補正は、ポジ、モノクロでは効果がありません。

■ OK ボタン
クリックすると選択された画像に色調整、グレイバランス、補正が適用され、色の調整ダイアログが閉じます。

■ キャンセルボタン
クリックすると色調整、グレイバランス、補正が無効になり、色の 調整ダイアログが閉じます。

■ 元に戻すボタン
現在の色の調整ダイアログで設定した全ての調整が無効になります。

② 選択画像をリセットボタン

クリックすると、寸前に色の調整ダイアログで適用された調整が無効になります。
調整されたコマを選択したときに有効なボタンです。

③ 全画像をリセットボタン

クリックすると、すべての色の調整ダイアログで適用された調整が無効になります。

④ フレーム数

プリスキャンされたコマの総数を表示します。

⑤ グローバルカラー

コマすべてに適用される調整値です。
【オプションタブ】で設定します。

⑥ ヘルプボタン

【エンハンスタブ】画面のボタンの操作についての、ヘルプファイルを開くことができます。
ヘルプファイルにはこの説明書と同じ内容が説明されています。

⑦ フィルム名表示

フィルムにバーコードとして記録されたメーカー名とフィルムタイプ名を表示します。
フィルムによってはメーカー名のみを表示する場合があります。

注意！
フィルム名表示機能は、ネガフィルムにのみ有効です。
それ以外のフィルムでは表示されません。

注意！
DX-コードが認識できない場合：
フィルムを装着する向きが間違っている場合が考えられます。

⑧ フィルムの取り出しボタン

このボタンをクリックするとキャリアよりフィルムが排出されます。

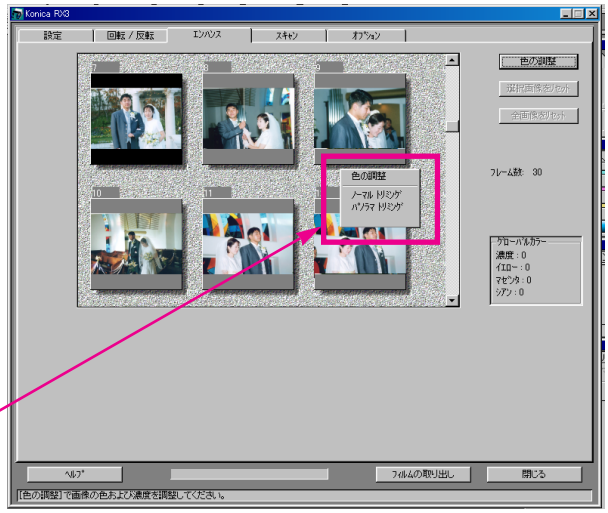
⑨ 閉じるボタン

このボタンをクリックするとプログラムが終了します。

⑩ ステータスバー

次に必要な操作についての説明が表示されます。

ヒント！
マウスの右ボタンクリック：



コマを選択してマウスの右ボタンをクリックすると、ドロップダウンメニューが表示されます。
以下の機能を選択することができます。
・色の調整

・ノーマルトリミング
・パノラマトリミング

【スキャンタブ】の説明

このタブでは本スキャンする画像を選択・本スキャン・保存します。

以下の機能の使用が可能です。
(詳細は P.31～33 を参照してください)

① スキャンチェックボックス
② 転送ボタン
③ すべてを選択ボタン
④ すべての選択を解除ボタン
⑤ フレーム数
⑥ グローバルカラー
⑦ ヘルプボタン
⑧ メーカー名、またはフィルム名表示
⑨ フィルムの取り出しボタン
⑩ 閉じるボタン
⑪ ステータスバー

① スキャンチェックボックス

表示されているコマの右上にチェックボックスがあります。
チェックボックスにチェックマークを入れるとそのコマが本スキャンされます。
マークを入れるにはコマの上、もしくはチェックボックスをクリックしてください。
（もう一度クリックすると選択解除になります。）

ヒント！
スキャンボックスは【回転/反転タブ】、【エンハンスタブ】で意図的に調整が加わったものには、予めチェックボックスに☑がついています。
この画面で確認してください。
再度【設定タブ】や【回転/反転ータブ】など他のタブに戻った場合など☑が消えることがありますので、この画面で確認してください。
また、スライドキャリアを使用した場合は、必ずチェックボックスに☑が入ります。

② 転送ボタン

このボタンをクリックするとマークされているコマが本スキャンされ、元の画像処理アプリケーションに画像が表示されます。

注意！
アプリケーションによっては、複数コマを転送できないものがあります。
また、ご使用のコンピュータのメモリやハードディスクの容量が足りない場合、連続転送ができない場合があります。

③ すべてを選択ボタン

すべてのコマにチェックマークがつき、すべてのコマが選択されます。

④ すべての選択を解除ボタン

すべてのコマのチェックマークが消え、すべてのコマの選択が解除されます。

⑤ フレーム数

プリスキャンされたコマの総数を表示します。

⑥ グローバルカラー

コマすべてに適用される各色と濃度の調整値です。
【オプションタブ】で設定します。

⑦ ヘルプボタン

【スキャンタブ】画面のボタンの操作についての、ヘルプファイルを開くことができます。
ヘルプファイルにはこの説明書と同じ内容が説明されています。

⑧ フィルム名表示

フィルムにバーコードとして記録されたメーカー名とフィルムタイプ名を表示します。
フィルムによってはメーカー名のみを表示する場合があります。

注意！
フィルム名表示機能は、ネガフィルムにのみ有効です。
それ以外のフィルムでは表示されません。

注意！
DX-コードが認識できない場合：
フィルムを装着する向きが間違っている場合が考えられます。

⑨ フィルムの取り出しボタン

このボタンをクリックするとキャリアよりフィルムが排出されます。

⑩ 閉じるボタン

このボタンをクリックするとプログラムが終了します。

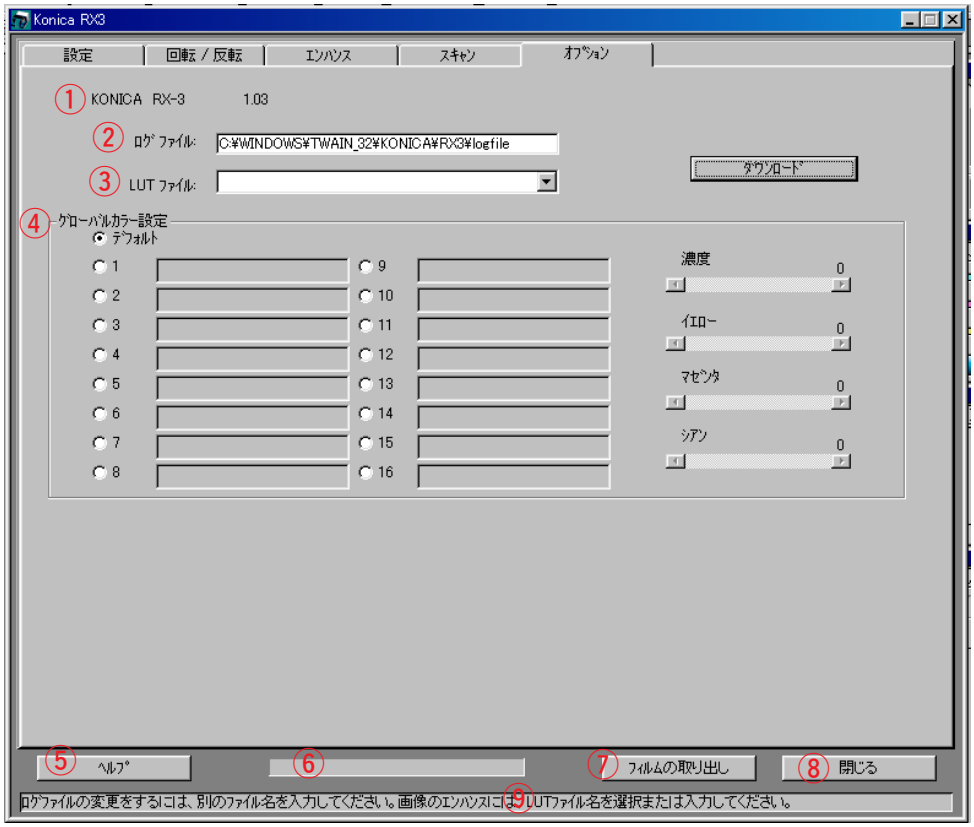
⑪ ステータスバー

次に必要な操作についての説明が表示されます。

【オプションタブ】の説明

注 意

注意！
【オプションタブ】は特殊なカラーセッティングをするためのタブで通常は使用しません。



以下の機能が使用可能です。
（詳細は P.35～37 を参照してください）

① バージョン表示
② ログファイル
③ LUT ダウンロード
④ グローバルカラー設定
⑤ ヘルプボタン
⑥ メーカー名、またはフィルム名表示
⑦ フィルムの取り出しボタン
⑧ 閉じるボタン
⑨ ステータスバー

① バージョン表示

RX-3 のファームウェア・バージョンナンバーが表示されます。

② ログファイル

ハードディスク上に保存され、キャリア種別スキャンコマ数が記録されています。

③ LUT ダウンロード

LUT のファイル名をボックスの中に書き、ダウンロードボタンをクリックするとコンピュータ側から RX-3 にロードされます。ダウンロードされると以降この LUT が使われます。

ヒント！

● 元の LUT に戻すには、ボックス右の矢印をクリックして Default LUT を選択し、再びダウンロードボタンをクリックするか、ドライバーを立ち上げ直すかのどちらかを実行します。

④ グローバルカラーセッティング

グローバルカラーセッティングは、デフォルト以外の 16 種類のカラーセッティングを登録し、選択できます。【エンハンスタブ】で行った調整値を何度も使用する場合、その値をここに入力しておきプリスキャンのカラーセッティングとして使用できます。

内部的には以下のテーブルになっており、設定値が記憶されています。

No.	名　称	D	Y	M	C	
0	Default	0	0	0	0	fixed
1 ～ 16	Free	− 50/+ 50	− 50/+ 50	− 50/+ 50	− 50/+ 50	Variable (可変)

ヒント！
名称は自由に付け替えが可能です。
ここで選択したものは、【回転/反転タブ】、【エンハンスタブ】、【スキャンタブ】の各画面の右下の“グローバルカラー”の設定に反映され、変更が加わっていることを確認できます。
【オプションタブ】のグローバルカラーは表示したセッティングの値がすぐに反映されます。
設定後、次回プリスキャンから有効となります。

⑤ ヘルプボタン

【オプションタブ】画面のボタンの操作についての、ヘルプファイルを開くことができます。
ヘルプファイルにはこの説明書と同じ内容が説明されています。

⑥ フィルム名表示

フィルムにバーコードとして記録されたメーカー名とフィルムタイプ名を表示します。
フィルムによってはメーカー名のみを表示する場合があります。

注意！
フィルム名表示機能は、ネガフィルムにのみ有効です。
それ以外のフィルムでは表示されません。

注意！
DX-コードが認識できない場合：
フィルムを装着する向きが間違っている場合が考えられます。

⑦ フィルムの取り出しボタン

このボタンをクリックするとキャリアよりフィルムが排出されます。

⑧ 閉じるボタン

このボタンをクリックするとプログラムが終了します。

⑨ ステータスバー

次に必要な操作についての説明が表示されます。

エラー・メッセージ一覧

●システム立ち上げ時	
メッセージ	メッセージの内容とその対応方法
Konica RX-3 Scanner is Already in use	2 度立ち上げた時に発生。 OK を押して終了し、始めからやり直します。
スキャナーに接続できません。スキャナーが接続され電源が入っていることを確認して下さい。	RX-3 がコンピュータに接続されていない。もしくは電源が入っていない、もしくは SCSI に正しく認識されていない。 RX-3 との接続、電源を確認。 もしくは SCSI が正しく認識されているかチェックし、コンピュータを再起動して実行しなおします。
キャリアをインストールして続行して下さい。	RX-3 のソフトを立ち上げたが、キャリアがセットされていない。 キャリアをセットして再実行します。
スキャナーカバーが開いています。カバーをインストールして実行して下さい。	RX-3 のランプカバー、もしくはキャリアカバーが開いている、もしくは、ずれている。 このとき、本体のアラームランプが点灯しています。カバーを正しくセットし、アラームランプが消えたことを確認して再実行します。
スキャナーランプエラー。	スキャナーランプをとりかえて続行してください。 スキャナーランプがセットされていないか、もしくは切れてしまった。スキャナーランプを正しくセットして再実行します。 （ランプの交換方法はハードウェアマニュアルを参考にして下さい。）
スライドをキャリアから取り出してください。スライドメカニズムがキャリアに配置されているか確認して下さい。[再試行]で続行、または[キャンセル]で中止して下さい。	スライドキャリアを使用していて、フィルムを入れたままでドライバーを立ち上げたときに出るメッセージ。フィルムを取り出して再実行します。
フィルムをキャリアから取り出してください。	[再試行]で続行、または[キャンセル]で中止して下さい。 スリーブキャリアを使用していて、フィルムを入れたままでドライバーを立ち上げたときに出るメッセージ。フィルムを取り出して再実行します。 注　意　注意！ 作業中にフィルムがキャリアに残った場合は、「フィルムの取り出し」ボタンを押してフィルムを排出するか、キャリアをいったん取り外して再セットすると、イニシャライズが行われフィルムを排出します。

●プリスキャン実行中	
メッセージ	メッセージの内容とその対応方法
スキャナーはフィルム DX コードを読みとることができません。 フィルムの最終フレームを先頭にキャリアに挿入しているか、または上下逆さまになっていないか確認して下さい。	フイルムの入れる方向を間違えている。(上下さかさま)、もしくはポジフイルムをネガの設定で読もうとした、もしくは DX コードのないフィルムであった。フイルムの挿入方向を変えて再読み込みします。もしくは、「無視」を押してそのまま続けることも可能です。
フィルムフィードエラー	フイルム読み込みエラー。 画面のメッセージに従って、フィルムをカートリッジから取り出した後、再実行します。
スリーブ、スライド、またはチェンジャキャリアがインストールされている場合、キャリアからフィルムを取り出してください。 APS キャリアがインストールされている場合、次の手順に従って下さい。 1. RX-3 スキャナーアプリケーションを閉じます。 2. スキャナーの電源を切ります。 3. スキャナーの電源を入れます。 4. RX-3 スキャナーアプリケーションを開始します。 注意： フィルムを手動で APS カートリッジに巻き戻さないで下さい。 APS キャリア内のシャフトの故障の原因になります。	フイルムを読み込みエラー。 フィルムを取り出し、フイルムの先端の状態、フイルムが途中で曲がっていないか、または、キャリアの内部が汚れていないかなどを点検して再度読み込んでみます。 (フイルムやキャリアの点検については、ハードウェアマニュアルを参照してください。)

その他

動作環境による不具合：本マニュアルの P. 6 における、動作環境に満たない環境でご使用した場合、画面の再表示が遅れたり、フラッシングが発生することがあります。

● 添付のソフトウェア

「PC 暗室 For RX-3」の使用方法については、CD-ROM 内の「PC 暗室ご使用マニュアル」をご覧ください。

Konica
コニカ株式会社
〒 163-0512 東京都新宿区西新宿 1-26-2

ORDER NO.

2740 YA142A

©KONICA CORPORATION

Printed in Japan 0204000-HA
Apr. 2002-A

製品の外観は予告なく変更することがあります。